



国際サンゴ礁イニシアティブ総会

INTERNATIONAL CORAL REEF INITIATIVE (ICRI)

General Meeting

2005年10月31日ー11月2日、コロール、パラオ共和国

2005年10月13日現在

活動計画(案)

ICRI 共同事務局, 2005-2007

背景

1. 2005年7月から2007年6月までの期間、ICRI事務局は日本およびパラオ共和国の政府が受け持つ。
2. 事務局の主要な任務は、2005年4月のセイシェルでのICRI総会にてICRIメンバーが採択した、改正版「国際サンゴ礁イニシアティブの組織と運営手法に関する決議」に規定されている
3. 事務局が2005-2007年の期間で重点を置く活動計画の概要は、別紙に示す。
4. 総会出席メンバーは、次のことが求められる：
 - 資料の内容について議論し、承認する
 - 資料に示された活動の中で、さらなる議論が必要な事項について特別委員会を設置する
 - 第3回ICRI総会の開催候補地および日程について提案する

別紙: 日本・パラオ共同事務局による 2005-2007 年活動計画

1. 本事務局は ICRI の「新・行動の呼びかけ」と「行動の枠組」に従うとともに、改正版「国際サンゴ礁イニシアティブの組織と運営手法に関する決議」に示された ICRI 事務局の役割を遂行し、事務局を効果的に運用するよう努める。
2. 本事務局は、2005-2007 の期間に 3 回の ICRI 総会を開催し、以下に示す目標に焦点を当てて活動する。

目標 1 熱帯および亜熱帯サンゴ礁の生態系に関連する、海洋保護区(MPA)ネットワーク開発におけるヨハネスブルグ地球サミット(WSSD)の 2012 年目標*に貢献する。

- 東アジアおよびミクロネシアにおける MPA データベースの強化し更新する
- ICRI の MPA 特別委員会と協力し、サンゴ礁 MPA に関する活動を行っている条約、組織、ネットワークなどと協力する

目標 2 太平洋地域内の協力を推進する

- 太平洋島嶼国の ICRI 活動への参加と協力を促進する
- 既存の地域イニシアティブとの連携を強化する。例えば ICRI の地域ワークショップの開催を促進する。

目標 3 過去 10 年間の ICRI の活動を評価する

- 過去 10 年間に渡る ICRI の活動を評価し、今後の ICRI の方向性について検討する
- ICRI の 10 年間の活動履歴を記した小冊子を出版する

目標 4 サンゴ礁保護のための普及・啓発を推進する

- 「サンゴ礁保護の日」の制定に向けた取り組みを開始する
- ICRI メンバーに、地域での普及・啓発活動の実施を奨励する
- ICRI コミュニティ内外での中心的な情報交換や啓発の場として、ICRI フォーラムの積極活用を推進する

目標 5 第3回国際熱帯海洋生態系シンポジウム(ITMEMS 3)(2006 年、メキシコ・コスメル市)を成功させる

- ITMEMS 3 の成果を効果的に普及し、ICRI およびサンゴ礁に対する認知度を国際的に上げる
- ICRI と ITMEMS との密接な連携を維持する

* WSSD の 2012 年目標: 2002 年に開催されたヨハネスブルグ地球サミットにおいて、2012 年までに、海洋及び沿岸保護区の代表的ネットワークを構築することが合意された。